

〈寄稿〉

1年後に迫った「裁判員制度」

「司法への市民参加」に意義



小出 淳一
法学部教授

重大事件に一般市民が参加する裁判員制度が1年後に始まる。刑事裁判は裁判官と市民が共同して「裁く」場になる。ただ、市民には責任の重さへの不安が大きい。長年、刑事裁判の裁判官を務めてこられた小出淳一法学部教授に、市民が裁判に参加する意義を事前手続などと共に解説していただいた。

期待の裁判員制度がよいより1年後の2009年5月21日から実施されることに決まった。裁判員制度は、市民が職業裁判官と共に事件の審理判決に携わるシステムであり、戦後新しい刑事裁判手続が導入されて以来、最大の画期的な改革である。

かねてから、刑事裁判には時間がかりすぎ、裁判が分かりにくい、判断も市民感覚から離れているのではないかと、といった批判があった。そのような批判を踏まえ、刑事裁判を市民感覚により近づけるため導入されたのが裁判員

制度である。市民の基本的価値を維持する感覚の反映によって、司法に対する市民の信頼が高まることにつながる。西欧諸国の多くの国で参審制のような市民参加制度を維持しているのも、このような視点を踏まえての公判前整理手続が、証拠開示手続を含め、手続全体の中で重要な役割を占めることになる。

感情より丁寧な評議に

直接尋問が重要に

「期間短縮」「分かりやすい立証」に期待

「期間短縮」「分かりやすい立証」に期待。公判でも、書面を読み上げるだけでは余程上流な記憶に残りにくいため、直接尋問が重要になる。裁判員制度は、国民に大きな負担を負わせるものではないと期待している。

市民感覚が採り入れられるようになれば、これまで気付けなかった部分で職業裁判官にも意識されるようになる。その分、判断の質も一層高くなる。複雑困難な事件についての準備・研究も着実に進められており、これまでの審理期間を大幅に短縮しながら、分かりやすい形で立証する工夫が法曹三者の間で続けられている。法律的な事項の説明方法についても、裁判員に分かりやすいものにする工夫が積み重ねられてきている。

他方、素人の裁判員が対等かつ自由に意見を述べることができると、この点に留意する必要がある。意見や判断が感情により左右されるのではな

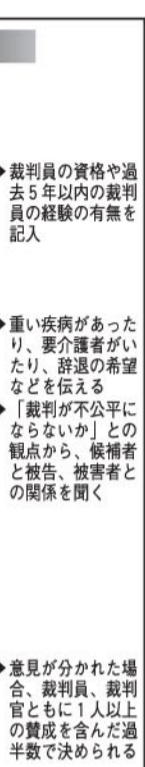
(この写真は提供写真につき紙面でのみ公開となりますのでご了承ください。)

▲ 模擬裁判での審理風景。やや奥中央に並んでいるのが裁判官(3人)と裁判員は2組で行われた(前列と後列各6人) = 東京地裁で4月14日

いか、という不安がある。また、素人の裁判員が果たして重要な役割を果たせるか、責任の重圧に悩まされないかといった不安もある。私には、これらの不安は全くの杞憂のように思われる。裁判員だけではなく、職業裁判官も加わった裁判員裁判であるから、万一感情が支配するような事態が生じてもこれを修正することは十分に可能である。互いに他の意見を耳を傾けながら意見を交わし納得の行くような丁寧な評議がされることによって、裁判員の心理的な負担感もかなり緩和されるであろう。

自由社会の砦に

市民の感覚を採り入れることにより一層質の高い裁判を実現すること、更には、自由な社会を守るための重要な砦としての機能を果たす制度でもあることに理解を深めていただき、裁判員に選任される機会があれば苦勞を厭わずその役割を果たす気持ちで更に強めていただくとお願いしたい。刑事裁判に長らく携わった者の一人として、願わずにはおられない。



「期間短縮」「分かりやすい立証」に期待。公判でも、書面を読み上げるだけでは余程上流な記憶に残りにくいため、直接尋問が重要になる。裁判員制度は、国民に大きな負担を負わせるものではないと期待している。

他方、素人の裁判員が対等かつ自由に意見を述べることができると、この点に留意する必要がある。意見や判断が感情により左右されるのではな



▲ あいさつする中村友保学部長

ネットワーク情報学部

ネットワーク情報学部では、コンテンツデザインコースに学ぶ2年次生が、川崎市立登戸小学校(多摩区・井上なおみ校長)5年生の理科「天気とその変化」の教材作成を行う。「コンテンツデザイン基礎演習」の授業の一環として取り組むもので、昨年は、6年生の「大地のしくみ」の教材作成で現3年次生が交流しており、2年続けての「小・大連携」となる。

4月21日には、約130人の小学生が生田キャンパスを訪れ、80人の大学生と交流。



▲ 共通点をみんなで確認

登戸小・5年生理科の教材作成で交流



▲ 大学生の指導でパソコン操作を学ぶ

小学生の指向を探り、パソコンを使う様子を見て、教材作成のヒントにするため、グループに分かれ共通点を探るゲームをしたり、大学生の指導で、ソフト「Visio」を使って、絵を描いたり、動かしたりすることを楽しんだ。学生たちは、「最初は戸惑っていたが、少し教えただけで、あっという間に覚えた。順応性が高いですね」と驚いていた。



▲ 共通点を探すゲームで仲良く